

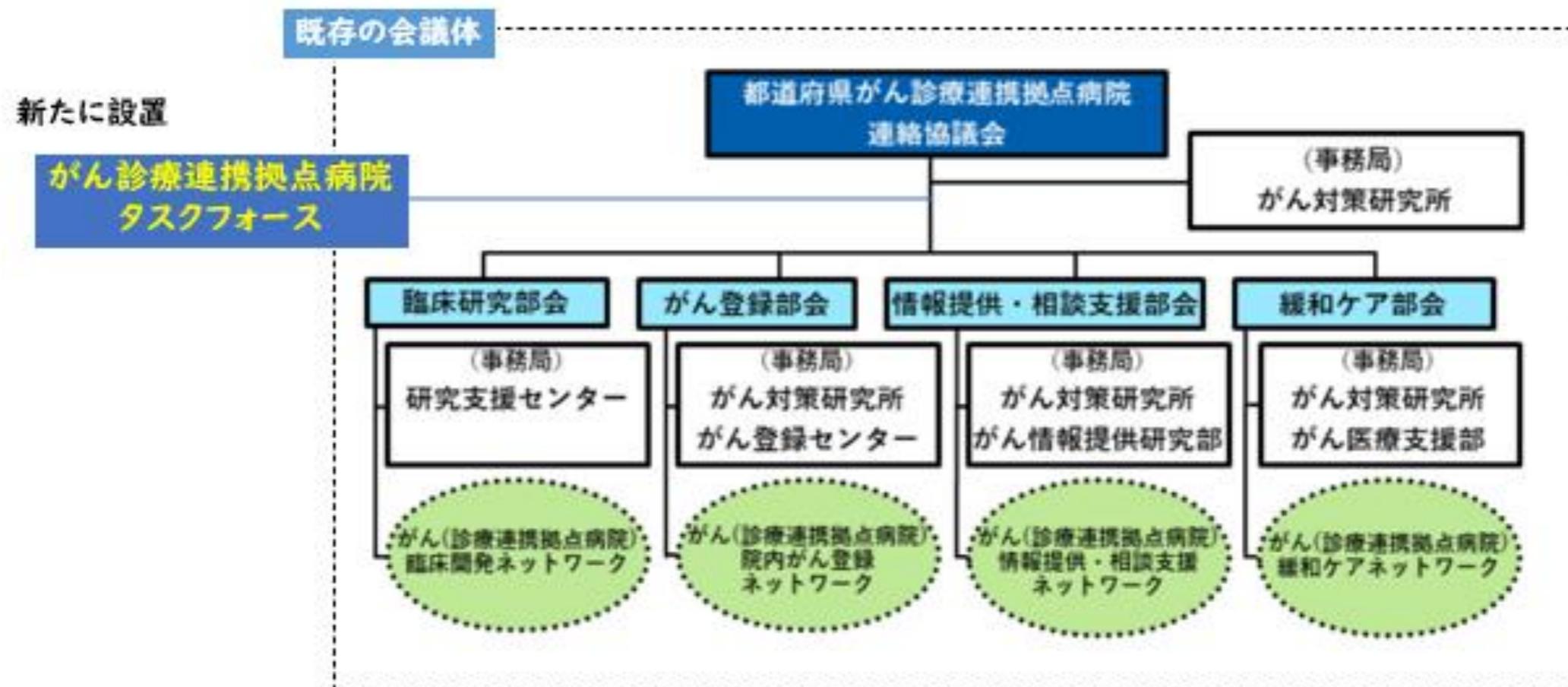
第18回都道府県がん診療連携 拠点病院連絡協議会	資料 1-3
令和7年7月11日	

がん医療の均てん化・集約化に 関するタスクフォースの設置(案)

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 事務局
(国立がん研究センターがん対策研究所 がん医療支援部)

1) 目的

- 高齢化や生産年齢人口の減少を背景に、持続可能ながん医療提供体制の構築に向けて、都道府県協議会におけるがん医療の均てん化・集約化に関する議論が求められている。
- 国協議会事務局として、**都道府県拠点病院の皆様が密に協議する機会**を持つことが望ましいのではないかと考え、タスクフォースの設置を提案させていただきたい。



2) 検討事項

国のがん医療の均てん化・集約化にかかる方向性を踏まえた、各都道府県における均てん化・集約化の議論に必要な事項や論点の検討・整理

【論点】

- ①**技術的支援**：がん医療の均てん化・集約化の議論を進めるにおいて、国からどのような技術的支援があるとよいか。求められる情報の幅・深さはどの程度か。
例：全国平均/都道府県別/医療圏別、専門医・看護師・病理医数、医療機器など
- ②**各拠点病院/地域での課題**：がん医療の均てん化・集約化を進めるにおいて、どのような解決すべきバリア、課題があるか。
- ③**情報発信**：がん医療の均てん化・集約化を進めるにあたって、どのような情報提供やアウトリーチの仕方があるか。各論的にはどの程度の粒度で示すとよいか。（国民に手に取ってもらうための工夫）

3) 構成員

● 公募による選任

- 構成員：国協議会委員からの公募により、10～15名程度を選任する。
- 国協議会との連携が必要な厚労科研研究班や小児がん拠点病院連絡協議会等から、オブザーバーや参考人を追加することができる。

【選考基準（案）】

- 職位：病院幹部の方
- 地域：各地方から1～2名程度
(北海道、東北、関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄)
- その他：病院種別（がん専門病院、大学病院、総合病院）、
人口規模（都道府県協議会の参加施設数も参考）等を考慮

【募集期間】

令和7年7月15日頃～7月末日

4) スケジュール（予定）

- 令和8年5月頃までに全3回程度（原則、オンライン）
- 具体的な日程は後日調整